

令和３年度 児童の安全確保と居場所づくり事業について
(大池小 ⇒ もと御幸森小)

1. 事業内容

(ア)目的

生野区西部地域における学校再編により、小学校区が広域化することに対応し、児童の通学の安全確保及び子育て世帯の負担の増加を防ぐことを目的として、通学路における見守り活動と学校跡地における子どもの居場所づくりを行う。

(イ)主な業務

➤ 「見守り活動」

学校の下校開始時間（13：30 もしくは14：30）から「引率」開始時間まで校区内の指定されたルートを巡回し、児童の安全を見守る。

➤ 「引率」

16：30以降、小学校のいきいきより児童の引き渡しを受け、指定のルートを通して17：00までにもと小学校まで連れ帰る。

➤ 「看視」

希望児童に対し、「引率」後17：00～18：00の間、保護者へ引き渡すまでの間、もと小学校内の活動室で預かり、順次保護者へ引き渡す。

2. 契約等概要

(ア)入札方法・契約額

➤ 入札方法 一般競争入札

➤ 契約額 当初契約額 : 6,455,086 円/年

変更後契約額 : 6,905,078 円/年

※コロナ対応、活動開始時間の一部延長により契約変更。

(イ)必要資格

次の①～②いずれかの実績を有すること

①国又は地方公共団体が発注する「放課後児童健全育成事業※」の運営業務を受託した実績を有すること

②自社において「放課後児童健全育成事業※」を運営した実績を有すること

※放課後児童健全育成事業とは、「放課後児童クラブ」、「学童クラブ」、「学童保育所」等をいう。

3. 参加状況（4月～8月実績）

単位：人

活動月 【活動日数】		4月 【25日】	5月 【23日】	6月 【26日】	7月 【24日】	8月 【20日】
登録児童数		23	23	22	22	22
延べ看視児童数		2 (42)	0 (54)	15 (68)	11 (39)	1 (12)
1日 あたり	平均	0.08 (1.68)	0 (2.35)	0.58 (2.62)	0.46 (1.63)	0.05 (0.60)
	最大	1 (4)	0 (4)	2 (4)	2 (4)	1 (2)

※（ ）内の数字は、もと御幸森小まで引率した児童数（看視児童数を含む）。

※ 新1年生は5月からの参加。

4. 見守り活動中の対応事例

①	事例	（6月）「家の鍵が閉まっている」と泣いている小1男子を、男性が指導員の元へ連れてくる。
	対応	男性より児童を引き継ぎ、指導員が自宅まで送り、自宅にいた保護者へ事情を説明し引き渡す。
②	事例	（6月）小1女子から「お母さんが家にいないかもしれない」と泣きながら話かけられる。
	対応	自宅まで引率し、自宅にいた保護者へ事情を説明し引き渡す。
③	事例	（9月）歩道橋を1度通った小1の女子が「自宅の鍵が開いていなかった」と歩道橋まで戻ってきたうえで、トイレに行きたいと話す。
	対応	指導員から大池小学校へ電話連絡のうえ引率し、職員室で教員へ引きわたす。
④	その他	巡回ルート上などにゴミが散乱している場合は、端によけ、児童が触ったり投げたりしないよう配慮。
		もと御幸森小および中川公園近辺において、野良猫に餌を与えている住民を確認しており、猫が多く発生していることから、万が一、ルート近辺に死骸を発見した場合は、保健所等へ連絡するよう指導員に指導している。